廃棄申請処理説明資料

パッケージ事業部より、電脳工場で伊藤園向け請求書を作成するように希望がありました。

その請求書の内訳明細には廃棄データも記入必要となりますが、現状は電脳工場が廃棄データを管理していませんので、抽出できません。

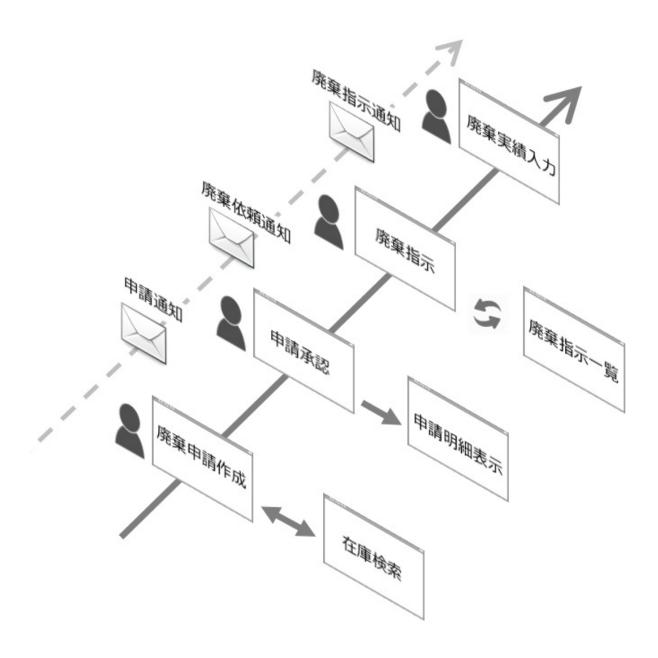
なので、廃棄処理について、機能を設計して追加になります。

また、伊藤園だけではなくて、全社の共通処理として設計を進めます。

どのような機能ですか?

在庫品がコストとみられるので、任意捨てるのはだめです。なので、 廃棄の実績記録だけではなく、申請&確認の処理流も必要となりました。 廃棄処理には大体4つステップがあります。

- 廃棄申請
- 廃棄承認
- 廃棄指示
- 廃棄実績入力



廃棄申請

申請人が廃棄申請を作成して提出します。

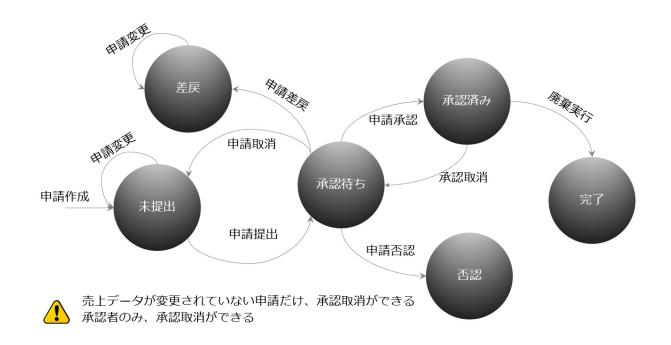
申請人が営業担当だけではなく、生産管理の方も申請できます。

また、廃棄申請には処分関連区分設定、売上計上区分、廃棄対象、処分理由など記入する必要となります。

そして、承認経路の指定も必要となります。

廃棄承認

承認者が処理必要な申請を検索し、詳細情報を確認した上で、承認します。 申請の状態が6つあります。



未提出

申請を作成し、未提出の状態です。この状態で、また編集や取消もできます。

承認待ち

提出済み、上長の承認を待ち状態です。この状態の申請だけ上長に見れます。 承認者が承認と差戻の操作ができます。そして、申請者より、取消もできます。 承認できない場合、否認します。

<u>承認済み</u>

承認者より承認しました状態です。 承認者がこの承認済み状態で承認取消もできます。

差戻

申請内容が修正必要なら、一旦差戻するの状態です。

この状態で、申請者が上長のご指摘の内容に従って、修正終わったら、もう一度申請提出します。

否認

申請内容が問題あり、承認できない場合、否認します。

完了

承認済みなら、廃棄作業を行います。

廃棄実績がシステムに登録したら、この申請が完了の状態になります。

廃棄指示

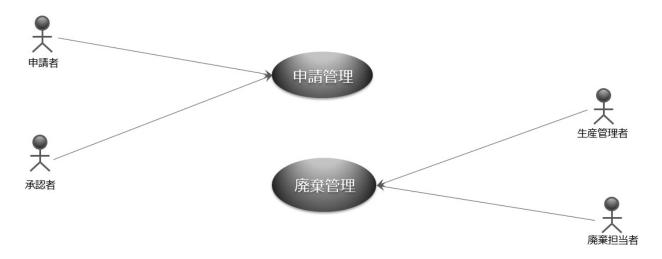
廃棄申請が承認済みなら、廃棄依頼との旨のメールで工場の方に連絡します。 生産管理方が申請のとおり、廃棄指示を作成します。

作成次第、担当者に廃棄指示通知メールを発送します。

廃棄実績入力

担当者が廃棄作業を完成したら、実績を電脳工場に登録します。

どの方がこの機能を使いますか?



サブ機能が申請管理と廃棄管理があります。

- 申請管理機能のアクターは申請者と承認者です。決裁者が決定できる承認者です。
- 廃棄管理機能のアクターは生産管理者と廃棄担当者です。
 生産管理者が承認済みの廃棄申請を受けて、廃棄指示を出します。
 廃棄担当者がその廃棄指示を受けて、廃棄作業を行います。
 最後に廃棄実績情報をシステムに登録します。

使い方の何でしょうか。

この機能が複数の画面を構成されています。

- 申請者向け、申請作成画面
- 承認者向け、申請一覧画面と申請承認画面
- 生産管理向け、廃棄指示作成画面と廃棄指示一覧画面
- 廃棄担当者向け、廃棄実績入力画面

申請作成画面



• ログイン情報より申請部署と申請者を設定しております。申請状態が空白です。

申請者の手動で申請区分を設定します。

• 「廃棄対象追加」ボタンを押して、「在庫検索画面」を開きます。

廃棄対象を指定したら、申請作成画面へ戻って、明細部にその対象を表示します。

• 明細部に表示される廃棄対象を選択し、「廃棄対象削除」ボタンを押した ら、

選択された明細が廃棄対象外にします。

- 明細部に表示する廃棄対象のコストを合計し、画面の右下に表示します。
- 明細部の表示モードを切り替え設定できます。
- 申請を提出する前に、必ず承認経路を指定します。承認経路が別のマスタ画面で設定しております。この場面には、適用な承認経路を指定することができます。

もちろん、承認経路も指定する前に参照できます。

• 申請を提出する際に、合計金額を判断し、決裁者の承認権限を越えれば、

メッセージを表示してから、処理中止にされます。

例えば、合計金額が100万円以上の場合、直接社長のほうに稟議書を提出する旨のメッセージです。

得意先都合、営業部、製造部、外注・仕入業者、その他という区分です。 お客さまより、廃棄するなら、売上計上を行います。(金額が調整する可能性もあります)

その他を選んだ場合、手入力で説明文言を設定できます。

<u>売上計上区分</u>

するの場合、売上計上を行います。 しない場合、売上計上を行わないです。

合計金額

廃棄品の合計金額を自動計算し、表示します。

この金額より、承認者の権限を判断します。

承認者の権限を越える場合、申請を出せず、アラートを表示します。

例えば、合計金額が100万円以上の場合、直接社長のほうに稟議書を提出する旨のメッセージを表示します。

承認経路

承認経路には承認者、決裁者、確認者がいます。

- 承認者が申請人の上長です。申請内容をチェックし、OKなら承認します。
- 決裁者が最終決定を作る人です。
- 確認者は関連の通知先です。

例えば、パッケージ事業部なら、廃棄申請ですが、直接、決裁者とする鈴木事 業部長に提出します。

この画面でログインユーザーの部署、画面IDより、適用できる経路だけリストに表示します。

<u>資産区分</u>

製品、中間品という棚卸資産区分です。

棚卸資産:将来、販売または一般管理活動を行うために保有している資産。商品や製品、仕掛品、半製品、原材料、消耗品などがこれにあたる。

<u>処分品区分</u>

在庫品、預かり在庫品、返却/不良品、半製品、その他という区分です。 その他を選んだ場合、手入力で説明文言を設定できます。

処分方法

通常廃棄(埋立て)、焼却処理、その他という区分です。 その他を選んだ場合、手入力で説明文言を設定できます。

処分資料

証明書、写真が要るかどうかの区分です。
処分資料が廃棄実績入力際に添付します。

処分理由

Hintで下記のメッセージを提示します。

「★処分に立ち至った経緯(具体的且つ明確に記入の事)」

申請一覧画面



提出した申請情報をこの画面で照会できます。

• 共通の画面なので、業務関連の情報が一切表示されません。

• 該当した申請情報が明細部に表示され、ダブルクリック或いは「明細表示」 ボタンを押したら、

申請確認画面を表示します。

申請事項より違う確認画面を表示できます。
 例えば、廃棄申請なら、廃棄申請用の確認画面を開きます。製版作業申請なら、製版作業申請確認画面を開きます。

申請確認画面

指定の申請の状態により、確認画面の状態も違います。

承認待ち状態差戻、承認、否認操作ができます。



承認済み状態承認取消操作ができます。(※完了状態になれば、取消不可)



• 完了状態

完了状態(廃棄済み)或いは否認状態なら、申請内容を参照だけ表示します。



廃棄指示作成画面



担当者にメールを発送します。

廃棄申請が承認されたから、メールで生産管理の方へ連絡します。 そのメールで申請番号も記入されていますから、その番号で検索し、自動的 に廃棄対象を 廃棄指示作成画面に読込します。

- 廃棄対象が格納している場所が違っている可能性が高いので、 明細部に左に保管場所を表示します。 右にある場所の廃棄対象を表示します。
- 廃棄ロット一覧という帳票も作成できます。
- 生産管理の方が確認しOKならば、「送信」ボタンを押して、担当者へ通知 メールを送信します。
- 廃棄申請と廃棄指示が1:1の関係と想定します。

•

廃棄指示一覧画面

申請承認日	~ ~ T		申請担当			指示状態		(終了(f・1)			
申請№			指示№			□未通知□通知済						
受注№	99999 ▼ NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN			指示担当	99999 ▼ NNNNNN	99 ▼ NNNNNNNNNNNN				検索(f・5)		
得意先	99999 T NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN		在庫場所	▼ NNNNNNN				[クリア(f・6)			
N₂	指示№ 指示状態		受注№	先方品名			申請情報		廃棄情報			
	10/1/42	38/3/1//8/	X/IN	767788日日		申請№	申請担当	申請承認日	在庫場所	廃棄実績日	廃棄担当	

その画面で廃棄指示の状態を確認できます。

ダブルクリック或いは「OK」ボタンを押したら、その指示の詳細情報を参照できます。

※廃棄していない場合、また変更できます。変更なら、再送信します。

<u>廃棄実績入力画面</u>



廃棄作業終わったら、この画面に指示NOで関連の廃棄対象を自動的に読み込みます。

情報を確認したら、「在庫ロット」ボタンを押したら、選択した対象が廃棄実績情報に反映します。

廃棄指示と廃棄実績が1:nの関係と想定します。

処分資料が必須なら、この画面で添付します。

(チェックがあります。資料の種類が限定したら、精度的にチェックできます。

例えば、証明書が必ずPDF、Excel、Wordファイルです。)